

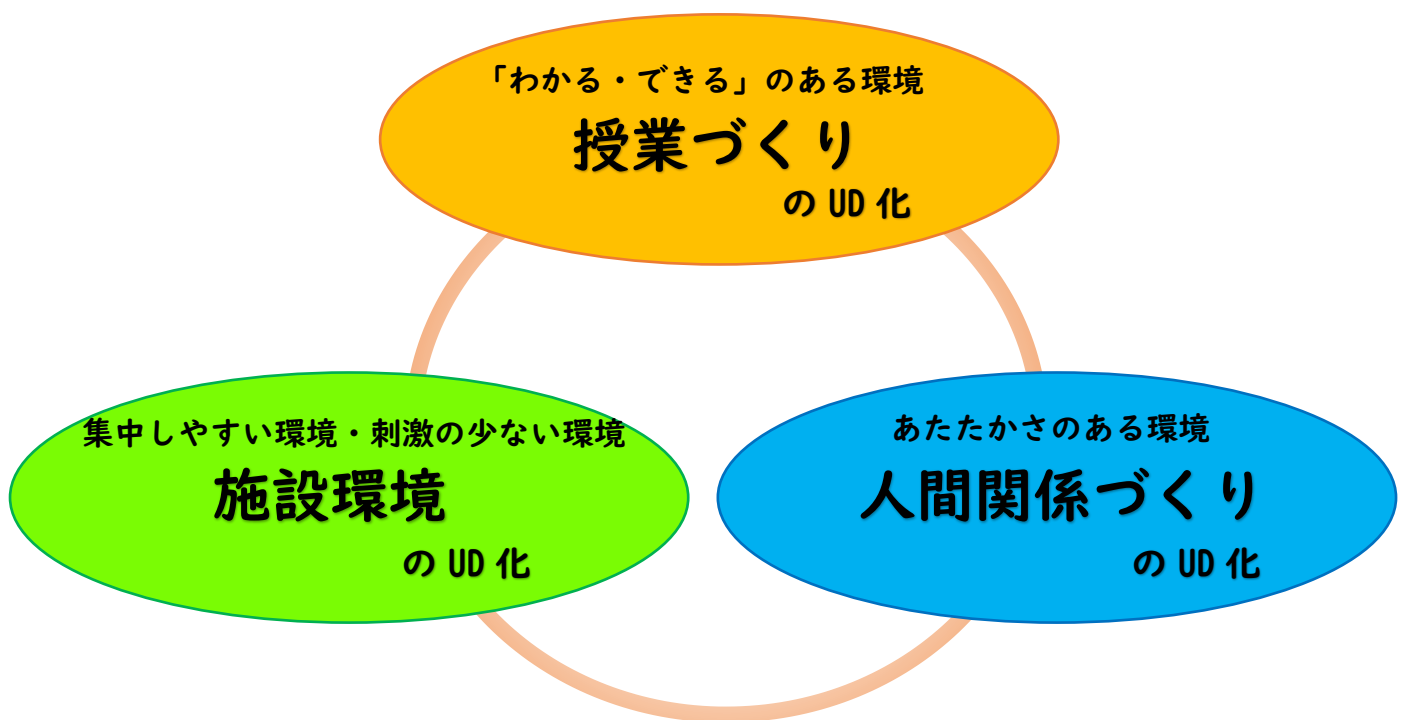
# 笹原小学校 ユニバーサルデザイン通信

本校では、すべての児童にとってわかりやすい授業づくりや生活しやすい学級づくりの推進を目的とし教育のユニバーサルデザイン化(以下 UD 化)に取り組んでいます。

保護者や地域の皆様にも、本校での UD 化への取り組みを紹介しようと、昨年度から HP にてユニバーサルデザイン通信を配信しております。

効果があるものは継続しながら、どの児童にとっても過ごしやすい学校を目指してより一層取り組みを進めています。

## 笹原小学校 UD 化への 3 つの柱

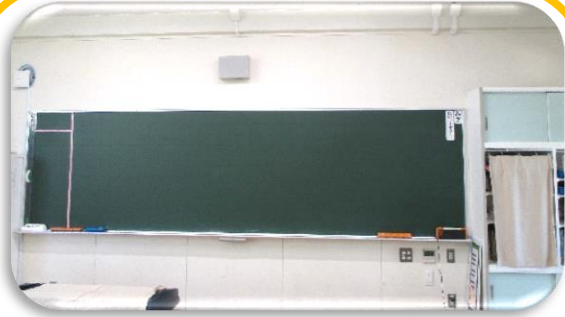


そもそも、ユニバーサルデザインとは「調整または特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲ですべての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計」と定義されています。(障害者の権利に関する条約第 2 条より) このような考え方を教育に反映したものが、教育のユニバーサルデザインです。

本校では、「授業づくり」「施設環境」「人間関係づくり」の 3 つのユニバーサルデザイン化を柱にして、日々の教育活動を行っています。

今回は、「施設環境の UD 化」をご紹介します。

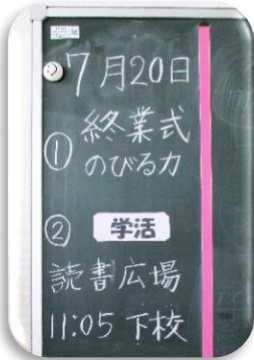
# 施設環境のUD化



教室前面の壁面の掲示物は必要最低限なものにすることで、学習中、黒板に向かって集中しやすくなります。



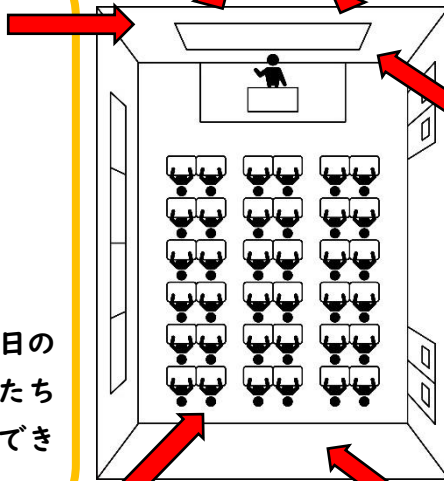
ガラス戸棚や本棚には中身が見えないようにカーテンで隠して余計な刺激を減らしています。



その日の予定を明確にし、1日の見通しを持つことで子どもたちは、安心してすごすことができます。



大型のデジタルタイマーを活用することで、時間の区切りを意識して学習に取り組むことができます。



学習に集中しやすい静かな環境にするために、いすにテニスボールをつけて音を出にくくしています。



床に印をつけて決まった位置に机を置いています。整然とした環境は、子どもたちの心の安定につながります。



個人のファイルBOXケースを使用することで、学校に置いていってよい物を個人でしっかりと管理することができます。



口頭指示だけではなく、視覚的な手がかりがあることで忘れずに落ち着いて行動することができます。指示がなくてもできる環境をつくることで、正しい行動が身に付きやすくなります。



廊下や階段を色分けしたり、ラインを引いたりして、視覚的に右側通行のルールを意識できるようにしています。

